

ポーランド政治クロノロジー(2010年4月)

月	内政	外交
4月	<p>6日 「市民プラットフォーム」、2011年の議会選挙を秋に行う計画。同時に、2011年9月末～10月初旬にかけ、EU臨時サミットを開催したい旨発表。</p> <p>6日 「市民プラットフォーム」、政党シンクタンクに支出できる政党助成金の上限を現行の15%から25%に増加するよう法案を提出する旨発表。最大野党「法と正義」は反対の構え。</p> <p>7日 下院にて、「法と正義」を除くほとんどの政党、家庭内暴力を阻止する法案を支持。</p> <p>7日 労組連帯とポーランド連合労組(OPZZ)、世界保健デーに1000人規模のデモを組織(於:ワルシャワ)。OPZZによれば、75%のポーランド人が国の医療サービスに不満を持っている。</p> <p>9日 上院、市民プラットフォームが提出し、下院で可決された国民記憶院に関する法改正を可決。</p> <p>10日 カチンスキ大統領夫妻を乗せた政府専用機、スモレンスクにて墜落。乗客・乗員96名全員死亡。</p> <p>10日 コモロフスキ下院議長、憲法の規定に従い、大統領代行としての義務遂行を宣言。</p> <p>10日 コモロフスキ大統領代行、10日18時から、7日間の服喪を宣言。</p> <p>11日 ミハウォフスキ元首相府事務局長、大統領府長官代行に任命(故スタシヤク長官の後任)。</p> <p>12日 トゥロチュク・ポーランド・オンブズマン副代表、代表に昇任(故コハノフスキ代表の後任)。</p> <p>13日 コジェイ元国防副大臣、国家安全保障局長官に任命(故シュチグウォ長官の後任)。</p> <p>13日 上下院、追悼のための特別議会開催。</p> <p>13日 大統領夫妻の棺を一般公開。市民による弔問を受付開始。</p> <p>14日 コモロフスキ大統領代行、国家としての</p>	<p>6日 シコルスキ外相とラヴロフ露外相、ポーランドの一部地域とカリニングラード全域でのビザなし往来に関する共同書簡をEUに提出。</p> <p>6日 ポーランド外務省、ベラルーシに、ボリス在ベラルーシ・ポーランド人連盟(ZPB)会長に科された罰金を支払う意思を表明。</p> <p>6日 ポーランド政府、NATOによるバルト三国の領空警備への参加許可を大統領府に申請。</p> <p>6日 ペトレイアス米軍中央軍司令官、ポーランド訪問(-8日)。</p> <p>7日 トゥスク首相、プーチン露首相と共に、カティンの森事件70周年追悼式典に出席(於:カティン)。式典後、首脳会談(於:スモレンスク)。</p> <p>8日 トゥスク首相、他の中東欧10カ国の代表と共に、オバマ米大統領と会合(於:プラハ)。</p> <p>8日 シコルスキ外相、外交政策演説(於:下院)。</p> <p>8日 カチンスキ大統領、リトアニア訪問(於:ヴィルニウス)。</p> <p>9日 シコルスキ外相、ストーレ・ノルウェー外相と会談(於:オスロ)。合同で、欧州における戦術核制限に関する議案をNATOフォーラムに提言すると発表。</p> <p>12日 クピエツキ駐米ポーランド大使、核セキュリティ・サミットへ出席(於:ワシントン)。</p> <p>14日 メドヴェージェフ露大統領、Russia Today(TV番組)に出演し、カティンの森事件等はスターリンの指示によるものと明言。</p> <p>14日 コモロフスキ大統領代行、アフガニスタン派遣部隊の派遣期間延長、増派に関する動議及びNATOのバルト3国領空警備任務に関する動議を承認。</p> <p>16日 ボルセヴィチ上院議長、欧州上院議員協議会第12回会合へ参加(於:ローマ)。仏・独・露・伊の代表と、二国間協議。</p> <p>19日 国防省の政府専用機墜落事故調査委員会、事故調査は現在初期段階であり、最終報告書の提</p>

<p>服喪期間を日曜深夜まで延長すると発表。</p> <p>16日 歴史学者のクネルト氏、首相府「闘争と受難の記憶保護協議会」会長に就任(故プシェヴォジニク会長の後任)。</p> <p>17日 大統領機墜落事故犠牲者のための追悼式典(於:ワルシャワ)。</p> <p>18日 カチンスキ大統領夫妻国葬(於:クラクフ)。コモロフスキ大統領代行及びトゥスク首相、メドヴェージェフ露大統領と会談。</p> <p>20日 ドゥダ大統領府次官、国民記憶院関連法改正について、憲法法廷に判断をゆだねるよう、カチンスキ大統領から生前指示を受けた旨発表。</p> <p>21日 コモロフスキ大統領代行、大統領選挙の日程を6月20日と告示。</p> <p>21日 農民党、パヴラク党首(副首相)を大統領選候補に決定。</p> <p>22日 民主左翼連合、ナピエラルスキ党首を大統領選候補に決定。</p> <p>23日 政府会合にて、大統領機墜落事故被害者遺族のための長期的補償について協議。</p> <p>24日 コモロフスキ大統領代行、カトヴィツェ、ブウォツク、クロスノの3選挙区における上院議員の補欠選挙を6月20日に実施すると発表。</p> <p>25日 クジニャク民主党党首、大統領選挙ではコモロフスキ大統領代行に投票すると発表。</p> <p>26日 ヤロスワフ・カチンスキ「法と正義」党首、大統領選に出馬表明。</p> <p>26日 大統領選、候補者選出委員会の登録を締め切り。22名が立候補登録。</p> <p>27日 ドルン「ポルスカ・プルス」院内総務、クリフ国防相の罷免を要求。</p> <p>29日 コモロフスキ大統領代行、改正国民記憶院関連法に署名。</p> <p>29日 労組「連帯」、ヤロスワフ・カチンスキ「法と正義」党首の支持を幹部会投票にて決定。</p>	<p>出までには今後数週間を要する旨声明を発表。</p> <p>20日 ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊報道官、アフガニスタン側がガズニ県アジリスタン郡の治安維持責任をポーランド軍派遣部隊から継承した旨発表。</p> <p>21日 国防省、米ペトリオット部隊のポーランド駐留開始が5月24日頃に延期された旨発表。</p> <p>22日 シコルスキ外相、NATO非公式外相会合に出席(-23日、於:タリン)。</p> <p>24日 クリフ国防相、モスクワ訪問。イワノフ副首相と、政府専用機墜落事故について協議。</p> <p>26日 シコルスキ外相、EU外務理事会及び総務理事会に参加(於:ルクセンブルク)。</p> <p>26日 シコルスキ外相、ワイマール外相会合に参加(-27日、於:ボン)。</p> <p>27日 シコルスキ外相、訪米(-5月3日)。クリントン国務長官、ゲイツ国防長官、ジョーンズ大統領補佐官と協議。</p> <p>27日 ポーランド軍第7次アフガニスタン派遣部隊の任務継承式典開催(於:ガズニ県)。</p> <p>28日 メドヴェージェフ露大統領、カティンの森事件に関する資料を連邦公文書館ウェブサイトにて公開し、未公開資料の開示を命じた旨発表(於:コペンハーゲン)。</p> <p>28日 トゥスク首相、政府専用機の墜落原因に関する記者会見において、調査は進行中であるが、故障及び爆発によるものではない旨発表。</p> <p>29日 トゥスク首相、プーチン首相と電話会談。</p> <p>29日 ドヴギェレヴィチ外務省国務大臣(欧州担当)、ポルトガル訪問(於:リスボン)。</p> <p>29日 NATOポーランド代表部、ポーランド軍人が、NATO国際軍事幕僚部情報部の副部長に就任する予定である旨発表。</p> <p>29日 米ミサイルフリゲート艦カウフマン(FFG-59)グディニア寄港(-5月2日)。</p> <p>30日 ポーランド空軍、NATOバルト三国領空警備任務開始(-8月31日、於リトアニア)。</p>
---	---